

一般質問



立 議員  
鈴 議員

質問

一、市内には、歴史的に貴重で価値のある遺物が、世に埋もれたままになっていないか。上志佐田ノ平地区にも歴史的に評価される六地蔵が建立されている。市内にはまだ多くの埋もれたままの遺物が存在しているのではないかと思われる。できるだけ早く、市内全域の調査を行って頂きたいと思うが、担当課及び市長の考えを伺いたい。

また、市内には素晴らしい絶景地や景勝地がある。植物、樹木、滝、歴史的遺物や遺跡等と組み合わせたルートをつくり、トレッキング路を整備して、健康増進にも寄与できるような施策を講じたらどうか。

二、公共施設は、お年寄りの方々、障害者の方々が気軽に集える施設であるべきです。バリアフリーについて特段の配慮を講じてほしい。上志佐公民館を例にとると、二階に上がるのは大変で、優しさに欠ける施設だと思えます。集いやすい施設であることは非常に重要なことです。できればスロープをつくって容易に上がっていただけるような方策を講じてほしい。

一、歴史的、観光的な勝価値の評価調査について  
二、公共施設のバリアフリー対策について

答弁

一、市にとって、歴史、芸術、学術上など価値の高いものを、また市民生活の変遷を理解する上で欠くことができないものを文化財として指定します。合併後に50件を指定し、その周知を図るためにパンフレットを作成したところです。

御指摘の田ノ平の六地蔵も含めて今後、地域の方や松浦党研究会の皆様、文化財保護審議会等にもご協力を頂きながら、全市的な調査を教育委員会で行っていきたくと考えています。

御提案のトレッキングコースについては、総合的な検討をする必要があります。遺跡などをどう活かしていくのかということ調査したいと思います。

二、公共施設については、やはりその耐震化とバリアフリーの両方の対応が必要だと思えます。学校の耐震工事を27年度までには終わらせるよう進めています。その後は、公民館や避難施設等の公共施設について耐震化、バリアフリー化の整備計画を立てて、事業に着手していきたい。

一般質問



谷 議員  
板 議員

質問

一、(1)西九州自動車道完成後の受け皿対策となるような改築を考えているか。  
(2)時代にマッチした観光の目玉ともなるような改築となるのか。  
(3)グローバル化のこの時代に、国際的な市場としての機能を發揮できるようなことも視野に入れてほしいが、市長の考えはどうか。

(4)松浦魚市場内の従業者の市民税と市場関連会社の固定資産税はどのくらい市に納付されているのか。  
(5)魚市場に係る起債の額と現在までの償還はどうなっているか。また、今後の課題は何が考えられるか。

二、(1)急傾斜地崩壊工事によって設置された法面保護のフェンスなどの老朽化による危険性はないのか。  
(2)工事がなされていない部分の上部は、いまにも崩壊しそうな状況にある。その対策はどうなるか。  
(3)県指定の保安林は木が生い茂って危険である。伐採できないか。  
(4)以前、民家の裏から水が出るという陳情も出ている。県に対し、今後どのように要望し、また、市としてどのように考えているか伺いたい。

一、松浦市公設地方卸売市場改築について  
二、阿翁浦地区、白山南側急斜面地危険区域について

答弁

一、(1)魚市場の将来の整備計画は、やはり西九州自動車道路と一体的な整備を進めていくべきだと考えます。  
(2)交流人口の拡大を目指す上でも観光の取り組みは重要です。魚市場が観光の受け皿となることができるような整備の方法について、今後、魚市場運営委員会で議論したい。

(3)国際的に通用する魚市場としての施設整備を構築する必要があります。大きなテーマと位置付け、魚市場運営委員会で協議を進めていきたい。

(4)市民税と固定資産税の24年度実績見込み額合わせて7千224万2千円を納付頂いています。

(5)これまでの起債の総額は、26億8千690万円で、本年度以降の償還残高は6億9千846万円です。まだ多額の償還金があり、収支計画に基づく健全な経営維持に努めてまいります。

二、(1)県に施設の機能点検を依頼し、補修、改修が必要な部分については対応してもらいます。  
(2)追加の工事の延伸を要望します。  
(3)県と協議しながら対応します。  
(4)県に立ち会いを求めており、対応をお願いしていきたい。